



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月6日

上場会社名 株式会社ファミリー 上場取引所 東  
 コード番号 8298 URL <http://www.cardealerfamily.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西條 徳三  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 清水 貴志 TEL 043-284-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,104	△0.8	493	11.5	495	12.5	331	46.4
29年3月期第3四半期	10,190	5.7	442	△15.2	440	△14.5	226	△32.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	59.14	—
29年3月期第3四半期	40.40	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	12,181	5,938	48.8	1,059.71
29年3月期	11,697	5,648	48.3	1,007.86

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,938百万円 29年3月期 5,648百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	0.8	700	0.5	700	0.8	400	1.2	71.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	6,529,114株	29年3月期	6,529,114株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	924,877株	29年3月期	924,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,604,247株	29年3月期3Q	5,604,257株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復と為替の安定、トランプ効果継続による米国発の株高、国内では企業業績の回復など景気に持ち直しの動きがみられた一方、個人消費の回復の遅れや北朝鮮問題など地政学的リスクの高まりなどから未だ先行きへの不透明感が拭えない状況が続いております。

国内の第3四半期累計期間の新車販売は、前年同期比4.5%増の3,656千台となりました。登録車は無資格検査問題等により第3四半期の登録が伸び悩み1.4%増の2,360千台にとどまりましたが、軽自動車は前年同期比10.5%増の1,296千台と大きく販売台数を伸ばしました。

当社の属する外国メーカーの第3四半期累計期間の新車販売台数は、前年同期比3.3%増の225千台と順調に推移しました。

このような状況下、当社では、欧米10ブランドを取り扱うことができるメリットを最大限発揮し、お客様に最適なお車を提供できるように努めるとともに、不動産事業、発電事業による多角化経営により安定的な収益確保に取り組んでまいりました結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高101億4百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益4億93百万円(前年同期比11.5%増)、経常利益4億95百万円(前年同期比12.5%増)、四半期純利益は3億31百万円(前年同期比46.4%増)となりました。

事業のセグメント別の状況は下記のとおりです。

#### (車両販売関連事業)

車両販売関連事業におきましては、輸入車各ブランド間による顧客獲得競争の激化は変わらず、また、国産車との競争もありましたが、ショッピングモール等での出張展示会の回数を増やすなど、新規顧客の獲得、買替への取り組みを積極的に展開しました。これにより、第3四半期会計期間(10月から12月)の新車販売が順調に推移し、サービス部門の売上も好調を維持しました。また、利益率の向上にも努めてまいりました。

その結果、売上高は、99億22百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益は3億79百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業におきましては、本社階上、成田店、西船橋店、市川店に併設する賃貸マンションにおいて、入居率の維持・向上に努め、また、旧野田店跡地をスーパーマーケット運営会社へ貸し出したことによる地代収入も加わり、売上高は1億13百万円(前年同期比47.6%増)、セグメント利益は76百万円(前年同期比92.1%増)となりました。

#### (発電事業)

発電事業におきましては、成田太陽光発電所が順調に稼働しましたが、平成28年10月に館山太陽光発電所を株式会社ファミリー商事に事業譲渡したことにより、売上高は68百万円(前年同期比33.6%減)、セグメント利益は37百万円(前年同期比31.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ4億84百万円増加し121億81百万円となりました。これは、売掛金が1億49百万円、未収還付法人税等が1億30百万円減少した一方で、現金及び預金が1億8百万円、建設仮勘定が6億76百万円増加したことが主な要因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ1億93百万円増加し62億42百万円となりました。これは買掛金が3億21百万円減少したものの、未払法人税等が1億9百万円、その他流動負債が179百万円、及び借入金が増加したことが主な要因であります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ2億90百万円増加し59億38百万円となりました。これは、四半期純利益を計上したことが主な要因であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月11日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績見通しにつきましては、様々な予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	610,010	718,771
売掛金	472,168	322,491
商品	2,255,196	2,313,845
部品及び用品	81,185	111,974
販売用不動産	13,077	13,077
繰延税金資産	80,243	13,168
未収還付法人税等	130,281	—
その他	243,779	280,940
流動資産合計	3,885,943	3,774,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,038,305	2,008,223
機械装置及び運搬具(純額)	339,083	309,081
土地	3,968,815	3,386,252
賃貸不動産(純額)	675,931	1,239,155
建設仮勘定	344,980	1,021,385
その他(純額)	113,878	103,385
有形固定資産合計	7,480,993	8,067,484
無形固定資産	20,179	18,675
投資その他の資産		
投資有価証券	84,490	98,703
長期貸付金	36,957	33,150
差入保証金	83,478	83,482
その他	105,166	105,786
投資その他の資産合計	310,092	321,123
固定資産合計	7,811,265	8,407,283
資産合計	11,697,208	12,181,553

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	756,458	434,581
短期借入金	2,632,818	2,593,060
未払法人税等	—	109,996
賞与引当金	11,940	6,150
その他	467,629	647,594
流動負債合計	3,868,846	3,791,381
固定負債		
長期借入金	1,911,597	2,156,737
役員退職慰労引当金	40,542	42,722
資産除去債務	8,394	8,473
繰延税金負債	60,691	56,570
その他	158,816	186,774
固定負債合計	2,180,042	2,451,278
負債合計	6,048,888	6,242,659
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,387,297	1,387,297
資本剰余金	815,014	815,014
利益剰余金	3,628,304	3,909,317
自己株式	△200,842	△200,850
株主資本合計	5,629,773	5,910,778
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,545	28,115
評価・換算差額等合計	18,545	28,115
純資産合計	5,648,319	5,938,893
負債純資産合計	11,697,208	12,181,553

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	10,190,520	10,104,801
売上原価	8,663,154	8,504,674
売上総利益	1,527,365	1,600,127
販売費及び一般管理費	1,084,884	1,106,694
営業利益	442,480	493,433
営業外収益		
受取利息	710	631
受取配当金	1,674	1,699
受取保険金	1,990	6,230
その他	5,046	4,287
営業外収益合計	9,421	12,849
営業外費用		
支払利息	11,637	10,917
営業外費用合計	11,637	10,917
経常利益	440,265	495,365
特別利益		
固定資産売却益	1,372	-
特別利益合計	1,372	-
特別損失		
固定資産除却損	17,854	11,026
固定資産売却損	382,644	-
減損損失	28,274	-
特別損失合計	428,773	11,026
税引前四半期純利益	12,864	484,338
法人税、住民税及び事業税	3,633	94,577
法人税等調整額	△217,173	58,310
法人税等合計	△213,539	152,887
四半期純利益	226,404	331,451

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。